

道徳

I 道徳の時間の学習目標

生命の尊さを理解し、自他を尊重する豊かな心と、正しく判断し自分の行動に責任をもつ態度を育成するとともに、集団の一員としての自覚と規範意識を高める。

II 道徳の時間の3年の科目構成と学習内容

| | 「科目」と学習内容・配慮すべき事項 | 特色ある活動（指導の観点）、関連する行事等 |
|----|---|---|
| 1年 | <p>[1学年の重点内容項目]</p> <p>(1) 日常生活から様々な機会を捉えて、人を思いやる心を育てる</p> <p>(2) 公衆道徳を身に付ける</p> <p>[1学年段階で配慮すべき事項]</p> <p>(1) 心身の健康に心がけ、節度のある生活態度を育てる</p> <p>(2) 他者の立場を理解し、思いやる心を育てる</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業地区公開講座 ・体育祭 (自主・自立、向上心、友情・信頼) ・白鷗祭 (思いやり、相互理解・寛容、集団生活の充実) ・伝統文化体験 (礼儀、我が国の伝統と文化の尊重、国際理解) ・上野・浅草探究活動 (礼儀、郷土の伝統と文化の尊重、国際理解) |
| 2年 | <p>[2学年の重点内容項目]</p> <p>(1) 様々な教育活動を通して思いやり、協調、やさしさ、生命の尊さ等の道徳的心情を育てる</p> <p>[2学年段階で配慮すべき事項]</p> <p>(1) 自己の役割と責任を自覚して、集団生活の向上に努める意欲を育てる</p> <p>(2) 互いに高め合い励まし合える友情を育てる</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業地区公開講座 ・田植え体験 ・体育祭 (自主・自立、向上心、友情・信頼) ・白鷗祭 (思いやり、相互理解・寛容、集団生活の充実) ・農村勤労体験学習、田植え体験 (礼儀、郷土の伝統と文化の尊重、自然愛護) ・職場体験 (礼儀、社会参画、勤労) |
| 3年 | <p>[3学年の重点内容項目]</p> <p>(1) 主体的に生きていく力を育てる</p> <p>(2) 相手の立場になって考える力を育てる</p> <p>(3) 様々な場面や機会を捉えて道徳的心情を育てる</p> <p>[3学年段階で配慮すべき事項]</p> <p>(1) 相手の立場を認め、助言や忠告を謙虚に受け入れ、自己の向上に生かそうとする態度を育てる。</p> <p>(2) 地域から国際社会にまで目を向け、社会に貢献しようとする態度を育てる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業地区公開講座 ・都内巡り ・体育祭 (自主・自立、向上心、友情・信頼) ・白鷗祭 (思いやり、相互理解・寛容、集団生活の充実) ・アメリカ研修旅行 (集団生活の充実、我が国の伝統と文化の尊重) ・上級学校訪問 (自主・自立、克己と強い意志) |

III 道徳の時間の指導方針・指導の工夫

(1) 指導方針

- ・年間指導計画に基づき、生徒や学級の実態に即して指導する。
- ・各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等の関連を踏まえて指導する
- ・生徒一人一人が、自分の問題として受け止められるように指導する。

(2) 指導の工夫

- ・教科、特別活動の関連を深め、様々な場面で関連した指導を進める。
- ・道徳性を養い、判断基準を高めることで、社会的現実にも照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を養う指導を進める。
- ・様々な体験活動を通して、生徒が自ら道徳的意味に気づくように指導する。
- ・ICT機器を活用し、生徒の興味、関心を高めながら指導する。
- ・「心見つめて」「私たちの道徳」や副読本、資料等の活用を工夫し、指導の充実を図る。
- ・保護者、地域、関連諸機関との連携を深め、指導に役立てる。

教科名 道徳
 科目名 道徳
 対象 1 学年全員

I 学習到達目標

・生命の尊さを理解するとともに、自然を愛護し美しいものに感動する豊かな心と、正しく判断し自分の行動に責任をもつ態度育成する。また、集団の一員としての自覚と規範意識を高める。
 ・教師と生徒、生徒相互の人間関係を深め、広範な通学区域の様々な価値観に触れることにより、自分と異なる考え方を尊重する態度を育てる。また、人間としての生き方についての自覚を深めて、自己の人生を自ら切り拓いていく力を身に付ける。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 道徳教育の全体計画に基づき、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら行う。
- 2 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。
- 3 数値による評価は行わないものとする。

III 教科書・補助教材

教科書 「中学生の道徳 自分を見つける1」 廣済堂あかつき
 補助教材 「私たちの道徳」 文部科学省、「心みつめて」 東京都教育委員会

IV 学習計画

| 学 期 | 月 | 学 習 内 容 | | 授業時数 | 備考 | |
|-------------|----|---------|--|---|---|--|
| | | 考 査 | 「学習指導要領」の学習内容 | | | 教科書等の学習内容 |
| 一 学 期 | 4 | | A 自主、自立、自由と責任 | 7 | | |
| | 5 | | A 希望と勇気、克己と強い意志 A 自主自立、自由と責任 D 生命の尊さ D よりよく生きる喜び B 友情、信頼 | | | 0. オリエンテーション 1. この人生の主人公 2. 目標は小刻みに 3. 裏庭での出来事 4. あなたの「生きようとする力」 5. 偽りのバイオリン 6. アイツ |
| | 6 | | B 礼儀 A 節度、節制 C 公平、公正、社会正義 D 自然愛護 | | | 7. 半分おとな 半分こども 8. 釣りざおの思い出 9. ヨシト 10. あのハチドリのように |
| | 7 | | A 向上心、個性の伸長 C 郷土文化の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 | 11. 木箱の中の鉛筆たち 12. アップルロード作戦 1学期のまとめ | | |
| 二 学 期 | 9 | | D 生命の尊さ | 8 | | |
| | 10 | | C 遵法精神、公德心 C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 B 思いやり、感謝 C 社会参画、公共の精神 A 真理の探究、創造 C 家族愛、家庭生活の充実 C 遵法精神、公德心 | | | 13. 曙号の死 14. 島耕作 ある朝の出来事 15. 音を宿す 16. 夜の果物屋 17. 加山さんの願い 18. ミスター・ヌードル 19. 美しい母の顔 20. 人に迷惑をかけなければいいのか? |
| | 10 | | B 思いやり、感謝 B 友情、信頼 C 国際理解、国際貢献 | | | 21. 地下鉄で 22. 吾一と京造 23. 国際協力ってどういうこと？ 24. ネット将棋 |
| | 11 | | A 自主、自立、自由と責任 C 公正、公平、社会正義 | | | 25. ある日のバターボックス 26. 銀色のシャープペンシル 27. 午前一時四十分 28. 語り掛ける目 29. 旗 2学期のまとめ |
| | 12 | | D よりよく生きる喜び C 勤労 D 生命の尊さ B 思いやり、感謝 | | | |
| 三 学 期 | 1 | | A 希望と勇気、克己と強い意志 | 7 | | |
| | 2 | | D よりよく生きる喜び C 家族愛、家庭生活の充実 B 相互理解、寛容 D 感動、畏敬の念 | | | 30. 終わりなき挑戦 31. よみがえった良心 32. ふたりの子供たちへ 33. 言葉の向こうに 34. ガジュマルの木 35. 二枚の写真 1年間のまとめ |
| | 3 | | D より良い学校生活、集団生活の充実 | | | |
| | | | | 39 | | |
| 評 価 | | | | | 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める。 「ワークシートの記入」をさせることにより、授業における理解度をはかる。 「授業内の発言」をさせることにより、授業における態度をはかる。 A 主として自分自身に関すること B 主として人との関わりに関すること C 主として集団や社会との関わりに関すること D 主として自然や崇高なものとの関わりに関すること | |

教科名 道徳
 科目名 道徳
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

・生命の尊さを理解するとともに、自然を愛護し美しいものに感動する豊かな心と、正しく判断し自分の行動に責任をもつ態度を育成する。また、集団の一員としての自覚と規範意識を高めさせる。
 ・今後の志を立てられるように自分の生き方を考えさせる。一方で、異なる考え方を尊重する態度を身に付けさせ、幅広い視野で物を考えられる人物を育成する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 道徳教育の全体計画に基づき、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら行う。
- 2 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。
- 3 数値による評価は行わないものとする。

III 教科書・補助教材

教科書 「中学道徳 自分を考える」廣済堂あかつき
 補助教材 「私たちの道徳」文部科学省、「心みつめて」東京都教育委員会

IV 学習計画

| 学期 | 月 | 学習内容 | | 授業時数 | 備考 | |
|-----|----|------|--|---|----|-----------|
| | | 考査 | 「学習指導要領」の学習内容 | | | 教科書等の学習内容 |
| 一学期 | 4 | | D 生命の尊さ | いじめをゆるさない私たちの心 1 虎 2 いつでも・どこでも・誰とでも 3 樹齢七千年の杉 4 ジョイス 5 ガストロカメラ 6 野生の猛禽を守るために 7 これは駄目？これも駄目？ | 8 | |
| | 5 | | A 向上心、個性の伸長 B 礼儀 D 自然愛護 A 自主、自律、自由と責任 A 真理の探究、創造 B 相互理解、寛容 A 節度、節制 | | | |
| 一学期 | 6 | | B 思いやり、感謝 C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 C よりよい学校生活、集団生活の充実 D 生命の尊さ | 1 1 ありガトオヨ 1 2 相馬野馬追の季節 1 3 明かりの下の燭台 命の選択 1 4 仏の銀蔵 1 8 加奈子の職場体験 2 2 お前のカワウソがさびしがっているぞ | 8 | |
| | 7 | | C 遵法精神、公德心 C 勤労 A 自主、自律、自由と責任 | | | |
| 二学期 | 9 | | A 希望と勇気、克己と強い意志 C 公正、公平、社会正義 B 友情、信頼 D よりよく生きる喜び C 家族愛、家庭生活の充実 | 1 0 「キング」と呼ばれる理由 - 三浦知良 - 1 5 嵐のあとに 1 6 小さなこと 1 7 ネパールのビール 1 9 尊い玉子 2 0 人間であることの美しさ | 6 | |
| | 10 | | B 思いやり、感謝 A 向上心、個性の伸長 | | | |
| | 10 | | D 生命の尊さ C 遵法精神、公德心 C 遵法精神、公德心 | | | |
| 二学期 | 11 | | A 自主、自律、自由と責任 D 生命の尊さ D よりよく生きる喜び | 8 燃え盛る炎 情報機器と私たちの生活 2 1 傘の下 2 3 路上に散った正義感 2 4 天使の舞い降りた朝 2 5 タッチアウト 2 6 最後の年越しそば 2 7 一冊のノート 2 8 国 | 9 | |
| | 12 | | B 思いやり、感謝 C 家族愛、家庭生活の充実 C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 | | | |
| 三学期 | 1 | | C 公正、公平、社会正義 A 希望と勇気、克己と強い意志 B 友情、信頼 A 節度、節制 | 9 君、想像したことある？ 2 9 本物の将棋指し - 村山聖 - 3 1 アイツとセントバレンタインデー 持続可能な社会を考える 3 2 足袋の季節 3 3 最も悲しむべきことは、病めることでも貧しいことでもなく 3 4 地図のある手紙 3 5 看取りの医者 | 8 | |
| | 2 | | D よりよく生きる喜び C 国際理解、国際貢献 | | | |
| | 3 | | B 思いやり、感謝 D 生命の尊さ | | | |
| | | | | 3 9 | | |

評 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める。
 「ワークシートの記入」をさせることにより、授業における理解度をはかる。
 「授業内の発言」をさせることにより、授業における態度をはかる。
 価 A 主として自分自身に関すること
 B 主として人との関わりに関すること
 C 主として集団や社会との関わりに関すること
 D 主として自然や崇高なものとの関わりに関すること

教科名 道徳
 科目名 道徳
 対象 3学年全員

I 学習到達目標

学習指導要領第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 道徳教育の全体計画に基づき、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら行う。
- 2 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。
- 3 数値などによる評価は行わないものとする。

III 教科書・補助教材

副教材 「中学生の道徳 自分をのばす」 廣済堂あかつき
 補助教材 「私たちの道徳」 文部科学省、「心みつめて」 東京都教育委員会、自作教材

IV 学習計画

| 学 期 | 月 | 学 習 内 容 | | 授業時数 | 備考 |
|-------|--|---------|---|--|----|
| | | 考 査 | 「教科書・学習指導要領」の学習内容 | | |
| 一 学 期 | 4 5 | | B 主として人との関わりに関すること 「山寺のびわの実」 ：互いの立場や考えを尊重し、謙虚に学び合う A 主として自分自身に関すること 「リクエスト」 ：自分で考え誠実に実行し、結果に責任をもつ | 私たちの道徳 心みつめて 自作教材 | 8 |
| | 6 7 | | D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること 「襟裳のこと」 ：自然の崇高さを知り、自然の愛護に努める C 主として集団や社会との関わりに関すること 「監督がくれたメダル」 ：学校を愛し、協力して集団生活を充実させる 「卒業文集最後の二行」 ：正義と公正さを重んじ、公平な社会をつくる | 私たちの道徳 心みつめて 自作教材 | 8 |
| 二 学 期 | 9 10 | | C 主として集団や社会との関わりに関すること 「元さんと二通の手紙」 ：法やきまりを守り、規律ある社会をつくる | 私たちの道徳 心みつめて 自作教材 | 6 |
| | 10 11 12 | | D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること 「ひまわり」 ：人間として生きる喜びについて考えを深める 研修旅行でのプレゼンテーション作成 ：集団生活の充実、我が国の伝統と文化の尊重 「自己を見つめる」 (上級学校訪問の振り返り・私たちの道徳p5) ：自己の向上を図り、個性を伸ばす | 道徳地区公開講座 「よりよく生きる喜び」 私たちの道徳 心みつめて 自作教材 | 9 |
| 三 学 期 | 1 2 3 | | A 主として自分自身に関すること 振り返り（中学三年生）（中学生生活全般） 来年に向けて（高校生として）（どんな大人になりたいか） | 私たちの道徳 心みつめて 自作教材 | 8 |
| | | | | 39 | |
| 評 価 | 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める。 「ワークシートの記入」をさせることにより、授業における理解度をはかる。 「プレゼンテーション」を行うことにより、それぞれの課題における理解度をはかる。 ※ただし、数値などによる評価は行わないものとする。（学習指導要領による） | | | | |